

電気自動車に対する意識

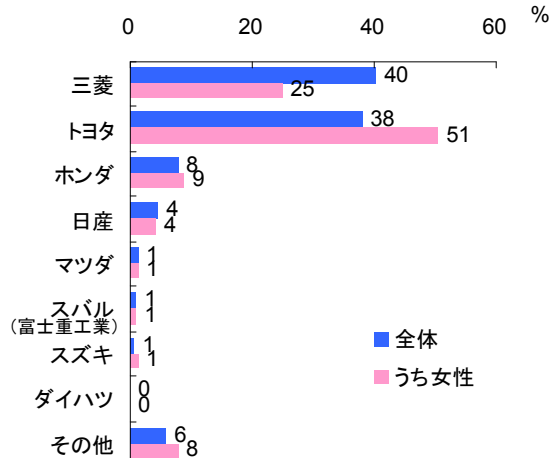
～ 電気自動車でもトヨタ?? ～

電気自動車と聞いて思い浮かべるブランドのトップは三菱。妥当と言える結果の一方で、トヨタが僅差で2位につけた。

トヨタを挙げたのは女性に多い。女性を中心に、電気自動車がハイブリッド車と区別されていない、あるいは電気自動車で思い浮かぶブランドがない(のでトップブランドのトヨタが回答された)ケースが多いものと想像される。

業界では電気自動車の先駆的に見られている日産や、「プラグイン・ステラ」を発売したばかりのスバルも想起は非常に少なく、この2社には厳しい結果となった。

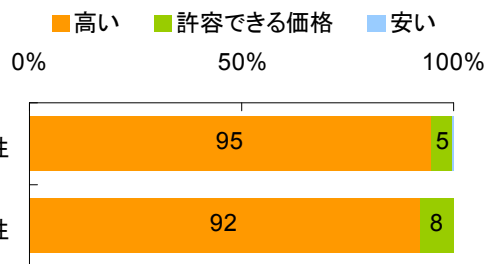
Q. 電気自動車と聞いて思い浮かべるブランド(メーカー)は?
(回答はひとつ)



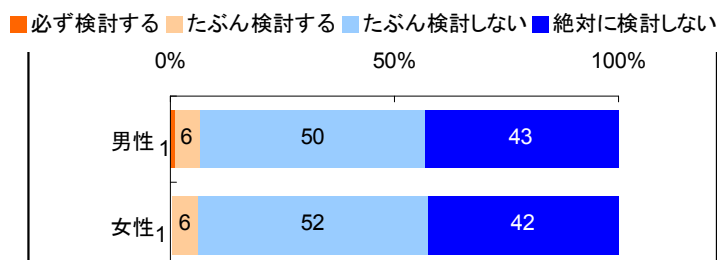
～ 発売モデルの検討意向は低い ～

今月相次いで市販モデルの発売がリリースされた電気自動車『プラグイン・ステラ』と『アイ・ミーブ』。価格に対する評価は、電気自動車に適用される140万円近い補助金を差し引いた額でも「高い」が圧倒的に多く、検討意向も低かった。

Q. 補助金換算後の実質的な価格(スバル『プラグイン・ステラ』334万円、三菱『アイ・ミーブ』320万円)は?



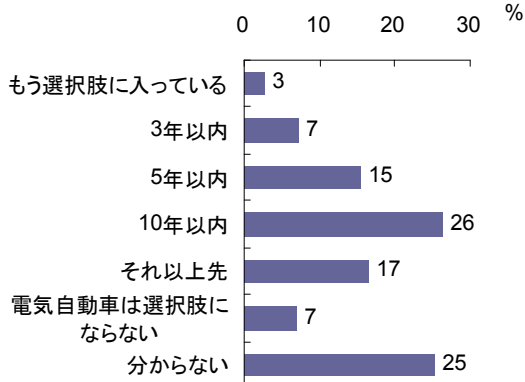
Q. いま車を購入するとしたら『プラグイン・ステラ』、『アイ・ミーブ』を検討する?



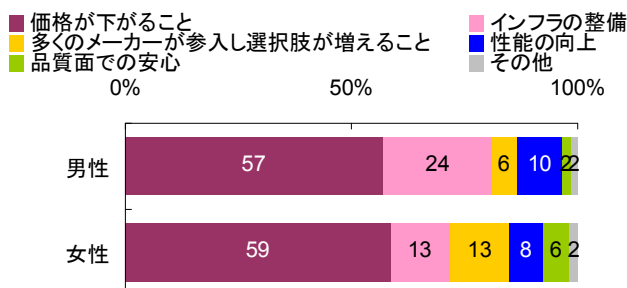
～ 電気自動車が選択肢になるのは5～10年先。価格が下がることが第一条件 ～

電気自動車が車を買うときの選択肢に入る時期は「10年以内」が最も多かった。「分からない」もほぼ同じくらいの比率となっており、ユーザーにとって電気自動車はまだ実感の伴わない存在と言える。ただし「電気自動車は選択肢にならない」は少なく、電気自動車自体に対する拒否反応は小さい。

Q. あなたにとって電気自動車が選択肢の一つになるのはいつ?



Q. 今後電気自動車が普及するためには何が必要?



今 月、スバルと三菱が相次いで電気自動車の市販モデルを発表した。しかし世界的にはハイブリッド車やその他のエコカー減税対応車に話題が集中し、電気自動車と言われてもユーザーにはまだピンと来ないのが現状のようだ。

電気自動車にユーザーの注目が集まるのはまさにこれから。ハイブリッド車でトヨタ・ホンダに先行された競合ブランドが、電気自動車はどう巻き返しを図るのか。今後の各社の動向を注視したい。

調査概要

- インターネットオンライン調査
- 調査協力: (株)クロス・マーケティング
- 回収数: 1348s
- 対象者条件: 全国の男女、18～69歳、乗用車保有者(軽含)、中古車購入含
- 実施時期 2009年6月19～21日
- ※グラフの数値は四捨五入のため必ずしも100%になりません

本レポートの著作権は(株)テイラー・ネルソン・ソフレス・インフォプラン(TNS Infoplan Inc.)に帰属します。本レポートで使用されているデータの著作権は(株)クロス・マーケティングに帰属します。無断での引用、転載は固くお断りいたします。

【本レポートに関するお問い合わせ】
TNS Infoplan オートモーティブ・セクター 担当: 古井 電話: 03-3265-5612